

様式第10号(第7条関係)

児童手当 受給事由消滅届		提出年月日	※受付確認年月日
(宛先) 鴻巣市長		令和 . .	令和 . .
受給者	(フリガナ) 氏名 (法人名等)		生年月日 昭和 平成
	住所 (法人の主たる事務所の所在地)	電話:	
消滅した 受給事由	<p>1. 受給者が日本国内に住所を有しなくなった 2. 受給者が他の市町村(特別区を含む)に転出した 3. 受給者が児童と別居することとなった(単身赴任の場合を除く) 4. 未成年後見人でなくなった 5. 父母指定者でなくなった(児童の生計を維持する父母等の帰国) 6. 児童について、次の事実が生じた ①死亡した ②監護しなくなった ③生計を同じくしなくなった ④生計を維持しなくなった ⑤日本国内に住所を有しなくなった(留学を理由とするものを除く) ⑥児童自立生活援助を受け、里親等への委託又は児童福祉施設等への入所若しくは入院した ⑦その他 () 7. その他 ()</p>		
6の場合における児童の氏名			
消滅事由の発生した年月日		令和 . .	
備考			
<p>◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ◎ ※印の欄は、記入しないでください。 ◎ 字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください。</p>			

注意

- 1 受給者が他の市町村（特別区を含みます。）に住所を変更したことにより児童手当の受給事由が消滅した場合で、その住所の変更について、転出届に児童手当の受給者であることを書いて提出した場合には、この届は提出する必要はありません。なお、6の⑦又は7を○で囲んだ場合は、（ ）内にその理由を具体的に記入してください。
- 2 全ての児童が18歳に達する日以後最初の3月31日を経過したことにより、児童手当の受給事由が消滅した場合、この届を提出する必要はありません。
- 3 「生年月日」の欄は、受給者が法人である場合は記入する必要はありません。
- 4 6の⑥は、児童自立生活援助、委託又は児童福祉施設等への入所若しくは入院が2月以内の期間を定めて行われたものである等一定の要件に該当する場合は該当せず、この届を提出する必要はありません。